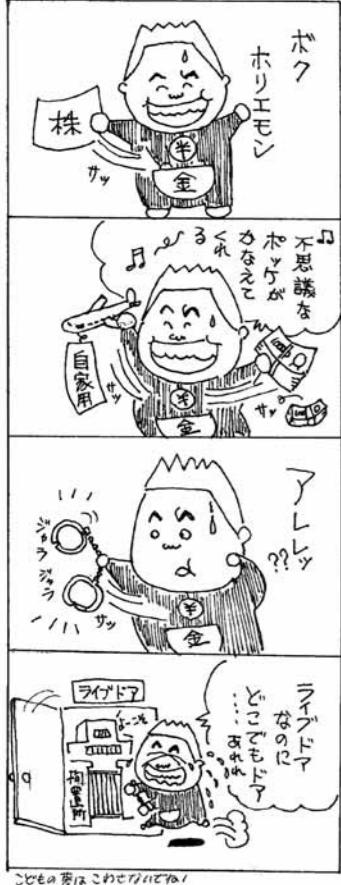


# ちよつと 聞いてよ (読者の声)

▶寒風の中でも元気に走り回って遊ぶ子どもたちにパワーをもらひながら保育しています。この子たちの未来のためにも、今、大人である私たちができるとは何だろうと考える日々です。新井川孝弘(岸和田市職労)▶今年のえとは「丙戌」。自分の生まれた年のえとを「本赴」といい

職労)▶この3月で退職です。いろんなことにチャレンジしたい。「おおさか自治体の仲間」のクイズができなくなるのがさびしい。野村和賀子(高槻市労組)▶最近、職場を途中退職していく人が増えています。人員削減が急ピッチで、仕事の質も量も厳しくなっているからだと感じます。南口豊治(東大阪市職労)▶枚方市当局の最悪の「貸下げ提案」に対して、職場、支部からたたかいました。当局提案を少しは押し返したもの、厳しい情勢が続いている。それでも、これからも団結してねばり強くたたかっていきます。細川ヒロ子(枚方市職労)

## “かなえてくれる”



吉村定教さん(大阪府職労)



熱戦がいっぱいの大会会場

## 新語 十番勝負

神戸空港

2月16日に神戸空港が開港しました。神戸市の中心・三宮から約8km南に位置し、新交通ポートライナーと約16分で結ばれます。神戸空港の事業費は約3140億円。国民の飛行機利用は約1億人、国内線の旅客に占める高齢者(60歳以上)の増加で、お年寄りが航空機で旅行する機会が増えることを当て込んでいます。開港時の便数は羽田便11往復、那覇及び鹿児島各4往復、札幌(新千歳)3往復など計7路線27往復。

## 大阪自治労連の組合員が大活躍! A級・松田秀之さん B級・伊藤正さん が優勝

大阪労連第26回  
春闘勝利将棋大会

新春恒例の「大阪労連第26回春闘勝利将棋大会」が、1月29日、国労会館で開催されました。大会には職場の将棋爱好者が多数参加し、A級・B級にわたりて日頃の腕を競い合い、熱戦が展開されました。大阪自治労連の各職場から出場した選手が大活躍し、A級では松田秀之さん(東大阪市職労)、B級では伊藤正さん(堺市職労)がそれぞれ優勝の栄冠を勝ち取りました。また、A級の準優勝は平山武弘さん(堺市職労)でした。また、大会では日本将棋連盟の木下晃七段の指導対局も行われました。

## 第4回役員セミナー 2月4日~5日 河内長野荘



講義に耳をかたむける参加者と基調講演の横野理啓さん



毎年の春闘期の学習行事として恒例になった「第4回役員セミナー」が、2月4日~5日の2日間、河内長野荘(河内長野市)でひらかれました。このセミナーは、青年役員を中心に、次代の労働組合にならう役員づくりに向けての労働学校として、大阪労連と関西労働者教育協会が共催でひらいているものです。今回のセミナーでは、若い力が「要求と團結の法則」い

きいきとした組合活動」を学ぶことをテーマに、総勢80人、大阪自治労連からは21人が参加しました。

初日の冒頭、大阪労連の植田保二議長は、「人間は、ものごとが判ったときの喜びは大変大きい。労働組合活動は、経験の多少にかかわらず、いつも困難や問題にぶつかるもの。つねに学ぶ姿勢をもとう」と激励。基

労働組合の活動は本当にもっと楽しいもののはず

今日学んだことを職場で生かしたい

勤労者教育協会)が「要求と團結の法則」のテーマで語り、「要求こそが出発点。要求討議はまさに生活討議の場。自分自身のことを話し合おう。自分自身を変えることから、職場をかえ社会を変えていく。みんなで決めてみんなで行動することが何よりも大事」と強調しました。

また、職場の実践報告では「教育労働者の教研集会・教研活動にかかわってきた経験から、私たちの活動は誰に何を呼びかけ、誰とどのようにつなが

るのかがいつも大切にしている」(大私教・上田和彦さん)、「地域労組おおさかは1998年13組織339人でスタート。いま20組織1000人を超えた。職種、年齢、地域、就労状況にかかわらず、誰でも入れる組おおさか・田中徹さん)と熱く語りました。夕食懇親会では「青年と労働組合」「女性と労働組合」「機関紙と労働組合」を軸に」の5つの分科会で、学習と交流を深めました。

参加者からは「労働組合の活動はむりやりさせられるものではなく、本来はもっと楽しいもののはず。こうしたことと本音で話しあえた」「学んだこと、交流したことを職場で生かしたい」などの感想が出されました。

# 「要求と團結の法則」学ぶ

1月17日に第134回の芥川賞と直木賞が決まりました。芥川賞は絲山秋子さんの『沖で待つ』で、職場で働きながらお互いを理解していく男女の友情を描いたもの。直木賞は東野圭吾さんの『容疑者Xの献身』。天才物理学者と天才数学者のトリック対決が見もの推理小説。芥川賞は芥川龍之介にちなんだ純文学作品、直木賞は直木三十五にちなんだ大衆文学作品が対象です。1月と7月の年2回。

## 新語 十番勝負

芥川賞と  
直木賞

1月17日に第134回の芥川賞と直木賞が決まりました。芥川賞は絲山秋子さんの『沖で待つ』で、職場で働きながらお互いを理解していく男女の友情を描いたもの。直木賞は東野圭吾さんの『容疑者Xの献身』。天才物理学者と天才数学者のトリック対決が見もの推理小説。芥川賞は芥川龍之介にちなんだ純文学作品、直木賞は直木三十五にちなんだ大衆文学作品が対象です。1月と7月の年2回。